

50th

令和5年度7月号 [7月14日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の1
TEL268-4506 FAX268-4761
特別支援学級 TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
<https://kishikawa.official.jp>

学校総合体育大会を振り返って ～ スポーツの力 と 部活動 ～

校長 松田 隆幸

西条凡児、上岡竜太郎、島田紳助の3人が関西出身のインテリで、天才的なしゃべりの芸人だと思われていますが、京都出身で、私と同じ大大阪神ファンの上岡龍太郎氏が生前言っていたことから、一つまみ。阪神の野球は最高です。やらんでも、観ているだけでもおもしろい。阪神ファンを見ていることも面白い。阪神ファンは、勝っても、負けてもなんやかんや言うて、騒いで、エエ気分になる。大阪を中心にエライ盛り上がる。阪神の力は、経済効果で言うたら、、、と続きます。タイトルと上岡さんの言うてることは関係ないんとちゃう? いやいや。阪神と一緒にしたらアカンと思いますが、先日の学校総合大会では、スポーツの力で、ウチの学校は大いに盛り上がり、一体感を得て、一緒に喜び、悲しんだ。会場にいた方は特にそれをライブで感じたに違いない。阪神ファンかて、やっぱりスポーツのファンやと思いますわ。スポーツの持つ力。人の心を動かす力。プレイするスポーツ、観るスポーツ、支えるスポーツ、、、スポーツとのかかわり方は色々ありますが、スポーツの力は、引力は、そこに感動があるからこそ人をひきつけ、魅了してやまないものです。メジャーの大谷選手と、中学生の試合は何一つ変わることなく、観る人を引き付けるものである。っとのめり込んだ応援をして、多くの会場で生徒諸君の頑張りとはドラマを拝見し、胸が熱くなった次第です。

が、そんな部活動がいろいろなところで、ガヤガヤ言われています。先日も、埼玉新聞なるところに、連載で部活動についての特集が第1弾・2弾として組まれていました。第3弾まであるらしいですが、、。この学校だよりでも昨年の12月号で触れているところでもあります。部活動を無くしたくはない。けど、少子化でこのままのスタイルを維持するのは困難な状況なので、工夫が必要。部活動という名でなくても、スポーツをやりたい生徒が、まずは土日に活動できるようにしないといけないと考えています。大人が知恵を絞って、環境づくりをしなくてはならない。そうゆっくりしてられないと思う。っというのも、生徒が減っていく速度は、私達が予想している早さを超えてくるからです。

お隣の芝東中学校さんの部活動と合同で行っているというのも、生き残りの一手。野球・剣道・吹奏楽・個人参加の陸上選手等々既に合同練習は始まっています。剣道は、外部指導者として2名を確保し、先生が土日の指導に制限がかかっても、外部指導者にお願いして部活動ができるという仕組みを得ています。生徒の数が減れば、先生の数も減る。種目の専門である先生を少ない人数の中で確保・調整することはまず不可能でしょう。先生の配置はまずは、教科が最優先となりますから。そこで、この先は、剣道のように、外部指導者になっていただける方のお力をお借りするために、皆様方から、外部指導者を募りたいということになろうかと思っています。

さて、今夜も阪神の応援で一体感を味わいましょうかねえー。今年はアレとるで!

11月24日は創立50周年記念式典&合唱コンクール

2023 Kishikawa.J.H.S 50th ANNIVERSARY

